

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道231号 雄冬防災	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道厚田郡厚田村大字安瀬村 至：北海道浜益郡浜益村大字群別村字千代志別		延長 5.8 km
事業概要 一般国道231号は、北海道の中枢都市である札幌市を起点に厚田村、浜益村を經由し、留萌市に至る延長約129kmの幹線道路である。このうち国道231号雄冬防災は、防災点検要対策箇所や特殊通行規制区間などの解消を目的とした延長5.8kmの事業である。		
H6年度事業化	H-度都市計画決定	H6年度用地着手 H6年度工事着手
全体事業費	約354億円	事業進捗率 86% 供用済延長 4.3 km
計画交通量	4,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 14.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 34/327億円 事業費 ：34/327億円 維持管理費 ：0/0億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) 493/664億円 走行時間短縮便益 ：449/600億円 走行費用減少便益 ：42/60億円 交通事故減少便益 ：3/4億円	基準年 平成15年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.2 (交通量+10%) B/C=1.8 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.9 (事業費+10%) B/C=2.2 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.8 (事業期間+20%) B/C=2.2 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・災害への備え（道路防災総点検要対策箇所が解消される） ・災害への備え（特殊通行規制区間が解消される）		他7項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 札幌市を始めとする関係5市1町3村の首長で構成される北海道石狩地方開発促進期成会より、毎年事業促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成8年度の道路防災総点検の結果、50箇所が要対策と判定された。また、平成13年に、増毛町の歴史的建造物群が「北海道遺産」に登録された。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度にトンネル2本計4.3kmが完成供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進めば、平成18年度頃に全線供用の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 再生材の活用、排水管の管種変更、岩切り工法の変更、覆道における三層緩衝工の採用等によりコスト削減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。